

2023年8月7日

2024年3月期 第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2024年3月期第1四半期連結決算は、売上高 89,799 百万円、経常利益 4,042 百万円となりました。2024年3月期連結業績予想については、売上高 360,000 百万円、経常利益 8,600 百万円を見込んでおります。

【2024年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され経済・社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調が見られました。

しかしながら、原料穀物相場は、依然として高値圏で推移しており、またウクライナ情勢の長期化に加え、為替相場やエネルギー価格の変動などにより、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた 3rd Stage「中期経営計画 23-25」を本年4月にスタートいたしました。基本コンセプト『SHOWA の“SHIN-KA”宣言～90 年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに 5 つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間では、「①基盤事業の強化」において、食品事業における製油・糖質カテゴリのより一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値向上に向けて国内での事業の展開を加速させるため、辻製油株式会社と本年5月に資本業務提携を行いました。

また、創立以来初となる抜本的な営業組織改編を実施し、これまで「プロダクトアウト型」であった当社の組織を業態別・顧客別の「ワンストップ型」に変革し、お客様のニーズに合致する最適なソリューションを迅速に提供する「マーケットイン型」の体制に改編しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は 89,799 百万円と前年同期に比べ 9,111 百万円（11.3%）の増収となりました。営業利益は 3,313 百万円と前年同期に比べ 1,497 百万円（82.5%）の増益、経常利益は 4,042 百万円と前年同期に比べ 1,861 百万円（85.4%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は 2,783 百万円と前年同期に比べ 1,357 百万円（95.2%）の増益となりました。

【2024年3月期連結業績予想】

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2023年5月11日に公表した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL：03-3257-2042 担当：赤松、塩谷